



のびのび



12月



学年日より
昭和小学校3年
R5. 11. 28



2023年も最後の月となりました



木枯らしが吹くようになり、校庭の木々もどんどん葉を落としています。寒さも厳しくなってきました。さて、17日（金）の校外学習では、詫間町民俗資料館で昔のくらしを体験しました。石臼や洗濯板など、さまざまな道具を使う中で、昔の人の苦勞や、道具を大切に作る心について学びました。



2学期もあと1か月となり、学習のまとめとして、ドリル・学習類の仕上げや2学期の復習などに取り組んでいきたいと思えます。元気に1年を締めくくれるよう留意していきます。ご家庭でもお子さんの体調管理をよろしくをお願いします。



学習の予定



国語	「モチモチの木」 「自分の考えを伝えよう」 「本をしょうかいしよう」	体育	「とび箱運動」など
社会	「事故や事件からくらしを守る」	音楽	「チャチャチャのリズムで遊ぼう」など
算数	「分数」 「間の数」 「ふく習」	図工	「くぎうちトントン」 「紙版画」
理科	「音を出して調べよう」「物の重さをくらべよう」	道徳	「絵はがきと切手」 「パラリンピックにねがいをこめて」



★柿の収穫体験★



11月24日（金）に、柿の収穫体験をしました。JAの木下さんから、実を収穫する際は二度切りをすることや、へたを下にして箱に詰めることを教わり、実を丁寧に扱いながら夢中で収穫していました。収穫した柿は300個をこえ、全校生にも配りました。選果場では柿を選別する作業を見せていただいて、出荷までの仕事について学びました。子どもたちは、機械よりも手作業でする仕事が多いことに驚いていました。

これまでの柿作りについての学習は、JA香川県綾歌南部柿部会のご協力の下、向井様の柿畑で見学・体験をさせていただきました。貴重な体験をさせていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。



★人権月間について★



11月13日（木）から12月8日（金）までを人権月間とし、一人一人の人権を大切にする意識を高めることに重点を置いています。3年生は、「ココロ屋」というDVDを視聴し、「心」とは何かを考えました。「ココロ屋」では、自分の心を、なりたい心に取りかえることができます。「やさしい心」「すなおな心」「あたたかい心」…。でも、そんな「よい心」に見えるものも、「やさしすぎて言いたいことが言えない」などの困った面がありました。主人公が、自分の心をつくられた心と取り替える経験を通して、自分の心を成長させていく大切さに気付くという話です。

★子どもたちの感想の一部を紹介します。

「今は上手に動かさなくても、自分の心を成長させるとよい心になっていくと分かりました。」

「たくさんの心をまぜた自分の心が一番いいと分かりました。これからは自分の心を大切に育てていきたいです。」

「これから、いろんな気持ちをけいけんして、自分の心が少しずつ育っていったらいいなと思いました。」

「自分の心はいろんな心が組み合わさった心だと分かりました。これから、自分だけの心へ育てていきたいです。」

自分の心の、どの部分も大切にしながら、心を育てていってほしいと願っています。